真宗大谷派

净恩寺 雅楽葬 検索 令和4年

8月

第454号

電話 052-881-8474

解迦葉にお

釈様で語釈

さのすりが

致での盆弟

し言の学

た葉由で

ワ

ラ

デ

モ

ウ

いから。

せ言。 で言言 言葉こおの





ιŠι

È

5

の

七

月









地だ も学 がは母っ よさ自に習雨あ `さあ いい分しし季るあんな も °のててののながた の時価語き間はの獄目 すは観合仲集あ心で蓮 よ逆にてと 誰もと 世さ吊り(盂でとらわれて、ませんか。 できてくだいまり方にられているの方になる。 が見えた、いまが見えた、

, 。らが来あ `本とる 私当な目 はにっ蓮 原る こおた尊 う釈言者 ら盆るいちて 因姿お 解会自 放)分 上 げ 会 で 飲 るづ 食 もて を 心く

ま さにに わ れな気 り て。 いのし

IJ

ラ

オ

伊 吹 Ш 散 策

宝 れ に る 供 首じ 養 恣し 0 日 に 花でをだし はしをくか_と 咲た食のし ĹШ °い散 し荒歩こ

雨

季

0

安あ

呑だ

終

わ

か

属ゆ波 製がが のみこ 。 ت 飾 り薬に は草も の打 こ宝ち の庫寄 山とせ のして 薬ょい 草うま でさし

















メ フウ

を ましししも求 てか猛め 山花 途は増時伊 中激え折吹 `減す涼山 目 °ぎしに を以たい行 こ前鹿山っ らのた風て す面ちがき と影が吹ま `は `くし ひあ花もた つり畑の そまのの りせ新 とん芽汗

光れた がて °自 保い温然 護た暖環 さ山化境 れ。`変 て浄食化 い恩物の ま寺連大 すの鎖き °金のな

